

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS × KANDA

ゴール14 海の豊かさを守ろう

14 海の豊かさを守ろう



私たちに豊かな恵みをもたらしている海は、私たちのこれまでの行動が原因で多くの問題を抱えています。その一つが、プラスチックごみによる海洋汚染です。毎年少なくとも800万トン

ものプラスチックごみが海に流出しており、2050年にはこの量が海の魚の量を超えるとも言われています。こうした大量のプラスチックごみは、海の生態系に多

大な悪影響を与えており、漁業や養殖業、観光業など自然環境により成り立っている産業に経済的な損失をもたらしています。

また、漁業における「魚の乱獲」も大きな問題となっています。今のまま海の生物の繁殖を妨げるほどの漁獲を繰り返せば、近い将来、私たちの食卓に魚が届かなくなる日が来るかもしれません。

海は地球の面積の約70%を占める大きな財産です。地球に暮らす私たちは、海の豊かさを守り、持続可能な地球の未来を実現する責任があります。

苅田町の取り組み

苅田町に面する豊前海は水深が15mと浅く、沿岸部には干潟が発達しています。この海域では、小型底びき網、小型定置網、刺網、採貝などの漁船漁業、カキなどの養殖業が盛んで、魚類ではカレイ、スズキ、クロダイ、甲殻類ではクルマエビ、ヨシエビ、ガザミ（豊前本ガニ）など多種多様な海産物が漁獲されています。このうち、クルマエビ、ヨシエビ、ガザミは栽培漁業の対象種として、長年にわたり種苗放流が行われており、例年、本町では行橋市栽培漁業推進協議会を通じてこれらの幼生の提供を受け、苅田町漁協の協力のもと合計10～15万匹を苅田港周辺に放流することで漁獲の安定、資源の増殖に努めています。



私たちにできること

魚を買うときはMSC認証、ASC認証がされたものを選びましょう

「海のエコラベル」と言われており、水産資源と環境に配慮し、持続可能な漁業で獲られた天然の水産物の証である「MSC認証」、責任ある養殖により生産された水産物の証である「ASC認証」がされた水産物を選ぶことで、海の豊かさを守ることに繋がります。

海のエコラベル
持続可能な漁業で獲られた
水産物
MSC認証
www.msc.org/jp



責任ある養殖により
生産された水産物
asc
認証
ASC-AQUA.ORG



SDGs TOPICs

電気自動車SAKURAを購入

苅田町では、2050年脱炭素社会の実現に向けた取り組みの一環として、昨年度の電気自動車ARIYAに引き続き、今年度は電気自動車SAKURAを購入しました。今後も脱炭素社会の実現を目指します。

